

SLyDIF_I でらくらくスライド作成

monaqa

2019 年 8 月 3 日

はじめに

SLyDIF_I: SATySF_I のスライド作成用パッケージ

[1] **SATySF_I** (<https://github.com/gfngfn/SATySF_I>)

- [1] 静的型付き関数型言語ベースの新たな組版処理システム
- [2] 普通の文書作成時にはそこまで関数型言語を意識しなくてよい
- [3] パッケージをカスタマイズする際の構文は OCaml 風

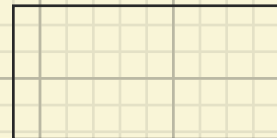
[2] **SLyDIF_I** (<https://github.com/monaqa/slydifi>)

- [1] SATySF_I でスライドを作成することができる
- [2] 実は既に先駆者がいる ([Steamer: Slide Presentation in SATySF_I](#))
 - [1] Steamer とは page break 周りの実装を少しばかり変えている

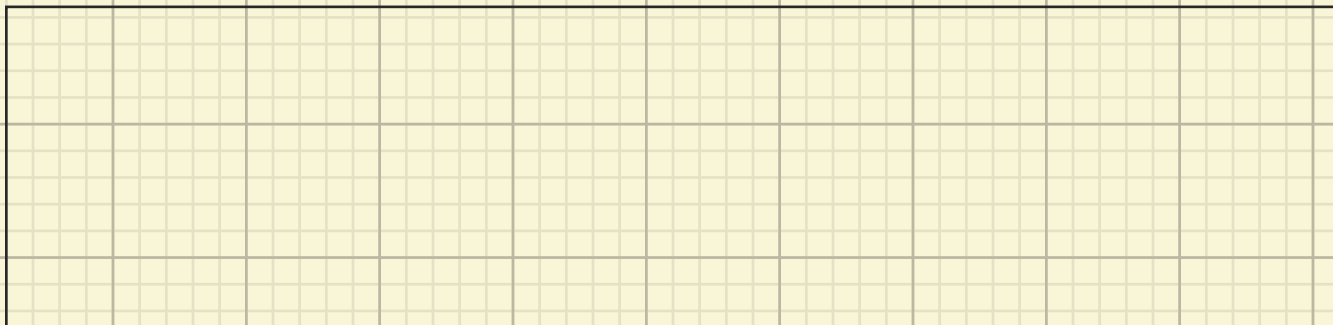
画像はりテスト



いろんな画像が貼れる．JPEG と PDF に対応している他，
DummyBox を用いてダミー画像を貼ることも出来る．



- [1] `\insert-image`: 本文中に画像を貼る．
- [2] `\fig-abs-pos`: 絶対座標を指定して画像を貼る．
- [3] `\fig-right`: コマンド挿入箇所の右端に画像を貼る．



機能一覧

演算

[1] ほげほげ

[1] ふがふが

[2] ぴよぴよ

[2] なんだか

[1] 味気ない？

[2] 気がする？

[3] 連続しても

[4] 大丈夫です